

# つながる医療

運動器再建・外傷センター 顧問

しん どう まさ てる  
**新藤 正輝 医師**

1979年 北里大学卒

●専門領域 / 重症外傷を含む整形外科外傷

●資格 / 日本整形外科学会専門医、日本救急医学会専門医・指導医、日本外傷学会外傷専門医、医学博士

●これまでの主な役職 / 日本救急医学会評議員、日本骨折治療学会評議員・理事、日本外傷学会評議員・理事、AO International理事、AO Trauma Japan理事・監事、帝京大学医学部附属病院外傷センター教授



## 整形外科（運動器再建・外傷センター）

機能障害を残さないことを目指し、  
早期手術・早期リハビリテーション・  
チーム医療で理論に基づいた  
骨折治療を実践しています。

大腿骨近位部骨折の手術待機期間は平均1.5日

大雄会の整形外科は、骨折治療学会の評議員等を務め、国際的な治療研究機関で活動してきた新藤正輝医師を運動器再建・外傷センター顧問に迎えました。

大雄会では、機能再建に向けた外傷治療に力を入れて取り組んでまいりましたが、今後さらに充実した診療を行っていきます。

その概要について、新藤医師に伺いました。

## AO International

海外で開催されたAOコースに講師として参加



写真は台湾でAO骨盤・寛骨臼コースにて、  
左から2番目が新藤医師。

骨折前のような生活ができなくなります。特に高齢者では機能障害だけではなく、肺炎や肺血栓塞栓症を合併して生命に関わる場合も少なくありません。このため大雄会では骨折後なるべく早期に手術を行い、早期にリハビリを開始するようにしています。実際、**高齢者の大腿骨近位部骨折の手術までの待機期間は平均1.5日と全国平均の5.5日を大幅に短縮しています。**

医療においても専門分化は進み、医師間だけではなくコメディカルと協力して治療を行うチーム医療は不可欠です。毎朝の関節外科、脊椎外科、手の外科など各領域の専門医との合同カンファレンスで、さらに専門的な治療方針を決定します。また、週1回の看

詳しくは、地域医療連携室までお電話ください。

**tel. 0586-26-2366** (直通) **fax. 0586-24-9999**

tel. 0586-72-1211 (代表) ●受付時間:月～金 8:30～19:00 土 8:30～12:30 ※祝日、年末年始除く